

平成28年度全国高等学校教育改革研究協議会・議題

～高校教育の質の確保・向上に向けて～

<協議の進め方>

【希望調査】

出席者は、あらかじめ以下のA～Dのグループを選択してください。
その際、中央教育審議会初等中等教育分科会高等学校教育部会「審議まとめ」を御覧いただきますようお願いいたします。

(リンク先) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/047/houkoku/1349737.htm

【グループ割振り】

希望調査に基づき、文部科学省において、グループ割振りを行います。
当日は、事前に選択した課題の視点に関する具体的な取組について、グループごと（およそ7～10人程度を予定）で議論を深めていただきます。
※ 協議の後、グループごとに報告、指導・講評を行います。

【協議の際の留意点】

協議に当たっては、出席者による議題に関する取組について簡単に説明をしていただき、論点を整理した後、単なる事例発表にとどまらないように議論を深めていただきます。

<課題の視点>

| グループ | 視 点 |
|------|--|
| A | 高等学校の再編整備計画について ～計画の進捗状況について～ ※過去の計画（H10年度以降を目安）、現在進めている計画、今後の計画策定の見通し ※各時期の再編整備の指針・基準 ※再編整備の成果、成功事例（失敗事例） |
| B | 高等学校教育改革について ～次期学習指導要領改訂を見据えた、「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の実現を目指す取組～ ※教員研修、モデル事業や研究指定校、高大連携等の施策の取組状況（国の調査研究事業の活用についても記載して下さい） ※特に優れた取組事例、その成果の普及のための取組 ※成果や課題 |
| C | 高等学校教育改革について（基礎学力の定着について） ～生徒の基礎学力不足や学習意欲の課題の克服に向けての取組～ ※教員研修、モデル事業や研究指定校等の施策の取組状況（国の調査研究事業、民間作成の教材等の活用についても記載して下さい） ※特に優れた取組事例、その成果の普及のための取組 ※成果や課題 |
| D | 定時制・通信制課程等における支援・相談体制の構築について ※困難を抱える生徒（発達障害のある生徒、外国人生徒、不登校経験のある生徒、経済的に困難な生徒等）を支えるための具体的な取組など |